2019年11月14日

PRESS RELEASE

ともに考え、ともにつくる 朝日新聞

朝日新聞社　〒104-8011　東京都中央区築地 5-3-2

報道関係のみなさま

ミュージカル「サタデー・ナイト・フィーバー」

トニー役のリチャード・ウィンザー　記者発表会に登場

Photo by ヒダキトモコ

日本のディスコブームの象徴となった１９７７年公開の映画「サタデー・ナイト・フィーバー」がミュージカル版になって戻ってくる！約１カ月後の１２月１３日、東京国際フォーラム・ホールＣ（東京都千代田区）で開幕する英国発のダンス・ミュージカル「サタデー・ナイト・フィーバー」。主演をつとめる英俳優・ダンサーのリチャード・ウィンザーが今月上旬に来日し、東京都内のディスコで開かれた記者発表会に登場。切れ味の鋭いダンスを披露し、会場に集まったファンら約１００人を興奮させせました。

映画「サタデー・ナイト・フィーバー」は、ディスコで青春を燃焼させながらも、成長の扉を開いていこうとする悩める青年の物語。主人公のトニー・マネロを演じた俳優ジョン・トラボルタを一躍スターの座に押し上げました。サントラ盤も大ヒットを記録。ビージーズの「ステイン・アライブ」「ナイト・フィーバー」「愛はきらめきの中に」などメガヒットが続出し、世界中のディスコブームを牽引しました。ミュージカル版は２０１８年にイギリスで初演されました。物語に沿って、ビージーズ役のシンガー３人がヒット曲を歌い、熱を帯びたダンスが展開されます。

「１２歳のころ、この映画を見た。ダンスをするきっかけになった映画。私には大人の世界だったが、若者の苦悩が描かれ、パッションに満ちた人生の旅を感じた」とトニー役のウィンザーは言います。ウィンザーは１９歳の時、英演出家のマシュー・ボーンの目にとまり、「白鳥の湖」「ドリアン・グレイ」「シザーハンズ」などの主役を務めました。表情豊かなダンスと繊細な演技で注目され、映画、テレビなどでも活躍しています。

ダンスの特訓を受けてきたウィンザーはトラボルタについて「素晴らしい俳優です。彼を真似してもできないし、しようとも思っていません。映画とミュージカルの適切な中間点を見いだす必要があった」とコメントしています。　映画で、ビージーズの曲が流れる中、トラボルタは人生のステップアップのため地下鉄に乗り、過去と決別してゆく様子を無言で表現しましたが、「ミュージカルではダンスでトニーに秘められた将来の可能性を表現します」と話します。

〈お問い合わせ〉
朝日新聞社 広報部
TEL 03-3545-0131（代表）

2019年11月14日

PRESS RELEASE

朝日新聞社　〒104-8011　東京都中央区築地 5-3-2

こまやかなダンスと演技のプランを持ちながらも、舞台を終始おおうのは華やかなディスコのムードです。ウィンザーは、最も好きな曲として「ユー・シュッド・ビー・ダンシング」を挙げています。「スタイリッシュで、いくら難しくてもリラックスしているように踊るのが、ディスコのクールなところです。ディスコダンスのオリジンの１つには精密で統一性のある踊りもあると思う。だからこそ、舞台と会場が一体となる音楽の祭典にしたいです」

＜公演概要＞

公演タイトル：ミュージカル「サタデー・ナイト・フィーバー」

生演奏・英語上演・日本語字幕あり

演出：ビル・ケンライト　振付：ビル・ディーマー　出演：リチャード・ウィンザー 他

公演日時：2019年12月13日(金)～29日(日)　全22回

会場：東京国際フォーラム・ホールC（有楽町）

主催：フジテレビジョン/キョードー東京/朝日新聞社　後援：BSフジ

＜チケット料金（全席指定）＞チケット好評販売中！

S席13,000円　A席9,000円 B席6,000円　U25当日引換券5,000円（税込）

＊U-25 当日引換券は就学児～24 歳まで対象。公演日当日に当日券と年齢のわかる身分証をご提示の上、座席指定券にお引き換え致します。

＊未就学児入場不可　チケットはお一人様1枚必要

＊上演時間：約2時間30分予定（休憩20分含む）開場は各開演時間の30分前

＊やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの変更及び払い戻しは致しません。

チケットに関するお問合せ：キョードー東京　０５７０－５５０－７９９（平日11:00-18:00/土日祝 10:00-18:00）

http://kyodotokyo.com/snf

Photo by ヒダキトモコ

Photo by ヒダキトモコ

〈お問い合わせ〉
朝日新聞社 広報部
TEL 03-3545-0131（代表）